

セントジョージマラソン国際交流事業に参加させていただいて

吉田 雅広

9月28日、期待と不安を胸に膨らませ、中部国際空港を飛び立ち、長い道のりを経て、セントジョージのホストファミリーと出会うと長旅の疲れも一気に吹き飛ばすような満面の笑みで出迎えてくれました。

ただし、英語が大の苦手な私にとつて早口でしゃべりかけられても、何を言っているのかさっぱり分からず、身振り、手振り、また片言の単語で対応するのが精一杯で、学生るときにもっと勉強しておけば良かったと、今さらながら後悔しつつ「後悔先に立たず」という言葉が身にしみたのでした。

しかしながら、日を追うごとにファミリーとの交流も深まり、セントジョージを満喫することができました。

さらには、現地の人たちの心の暖かさ、寛大さを身を持って体験でき、大変有意義なひと時を過ごすことができました。

最後にこの交流事業でお世話になった現地の役員の方々、ホストファミリー、また揖斐川町の方々に私の人生の中で記憶に残る新たな一ページを残させて頂き、大変ありがとうございました。



"Good Job."

福安ひふみ

大自然の雄大な景色の中、同じ時間を共有するさまざまな国のランナーや道沿いの陽気な応援団の"Good Job."が背中を押してくれ、楽しい42.195kmを終えることができました。

自分の人生の中ではありえないと思っていたホームステイまで体験させていただき、揖斐川町とセントジョージ市の友好の素晴らしさを肌で感じることもできました。

町長さんをはじめとする派遣団の皆さんの暖かいサポートのおかげで何の不安もなく楽しく過ごさせていただけたこと、そしてこのような機会を与えてくださったことに感謝しています。

どうもありがとうございました。
来年もまたいびがわマラソンでお世話になりますのでよろしくお願いします。